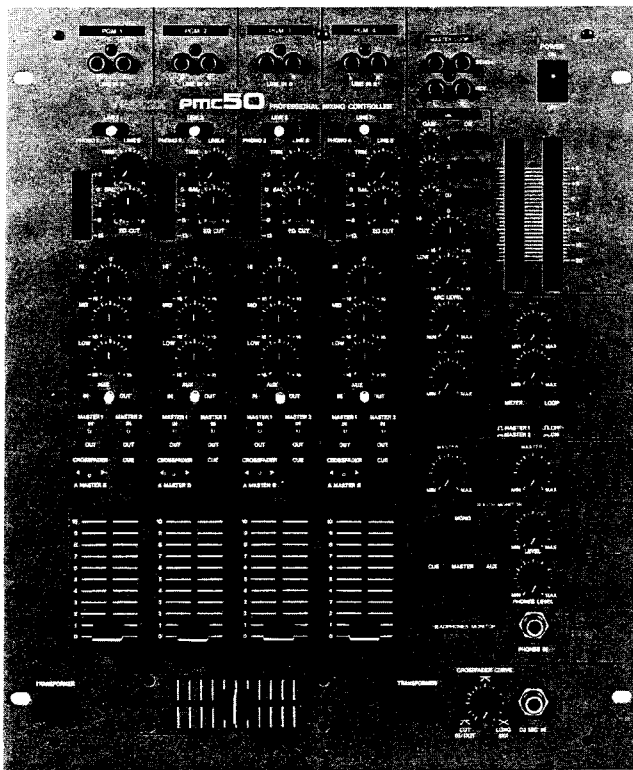


Vestax®

Professional Mixing Controller

PMC50

取扱説明書



ベスタクス株式会社

〒154 東京都世田谷区上馬2-37-1

電話 03-3412-7011 ファックス03-3412-7013

Printed in JAPAN

ごあいさつ

この度は、VESTAX PMC-50 プロフェッショナルミキシングコントローラーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本機はイギリス、ドイツ、イタリア、日本などのクラブ/ディスコといった現場からの要望により、企画・開発された業務・施工用DJミキサーです。コンパクトな外觀ながら、多機能・多入力を実現しています。本機の性能を最大限に発揮するためにも、この取扱説明書を良くお読み下さるよう、お願いいたします。

VESTAX PMC-50の特長

- クロスフェーダー部にVCAコントロールシステム(*)を採用することにより、滑らかな動きと長寿命を実現しています。またミキシングカーブの調節も簡単なので、プレイスタイルに合わせて幅広くご使用いただけます。
- 4つの各プログラムチャンネルごとにPHONO1系統、LINE2系統の入力を装備。それぞれのプログラムには、3バンドEQ、バランスコントロール、ゲインコントロールを装備し、細かい音づくりが可能です。
- 各プログラムのうち、ライン入力の1系統は上面パネルに入力ジャックが装備されています。現場持ち込みのDATプレイヤーやテープデッキを接続したいときも、速やかに対応できます。
- プログラムごとに独立した、ステレオのプログラムI/Oを装備。接続端子を前面パネルに配しているので、3バンドアイソレーターDCR-1200などのエフェクターの接続も容易です。
- 2系統の独立したマスターアウトの他、DJブース用モニターアウト、キューアウトなど出力系も充実しています。なお、マスターアウトはバランスとアンバランスの両方のタイプを搭載しています。

*VCAコントロールシステムとは：半導体のコントロール電圧を可変することにより、間接的に音声信号をコントロールするシステムです。クロスフェーダー自体に音声信号を流さないで、よりスムーズなコントロールと驚異的な長寿命を実現します。

主な仕様

● 定格入力レベル/インピーダンス	
PHONO	-42dBV/60k Ω
LINE	-10dBV/20k Ω
MIC	-60dBV/2k Ω
AUX RTN	-10dBV/10k Ω
MASTER LOOP RTN	-10dBV/10k Ω
PGM I/O RTN	-10dBV/5k Ω
● 定格出力レベル/インピーダンス	
MASTER OUT (UNBAL.)	0dBV/1k Ω
MASTER OUT (BAL.)	+4dBm/200 Ω
AUX SEND	-10dBV/500 Ω

CUE OUT	0dBV/500 Ω
BOOTH OUT	0dBV/500 Ω
HEADPHONES	80mW max. @ 33 Ω / \geq 8 Ω
MASTER LOOP SEND	-10dBV/1k Ω
PGM I/O SEND	-10dBV/500 Ω
● 周波数特性	20Hz - 20kHz (+0, -1dB)
● S/N比	120dB以上
● THD	0.01%以下
● 外形寸法(W×H×D)	330×90×400mm
● 重量	7.0kg
● 消費電力	20W

安全上のご注意

- 本機は100V交流電源専用です。直流電源や他の異なる電圧の交流電源に、直接つないで使用することはできません。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いて下さい。無理にコードを引っ張ったりして抜くと、コードを傷めてしまいます。
- 水などに濡れた手でプラグを持ってコンセントに抜き差ししないで下さい。感電することがあり、大変危険です。
- ビニールなどの皮膜が切れたり、擦れたりして芯線が露出している電源コードをそのまま使用すると、感電や火災の原因となります。また本機内部に水などの液体や可燃物およびピンなどの金属類を入れないようにご注意下さい。感電や故障の原因となります。
- 本機外装カバーを取り外して、内部に手を触れないで下さい。この結果生じた損傷、感電や火災について、当社はその責任を負いません。

アフターサービス

- 1.本機には保証書を添付してあります。所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載事項をご確認の上、大切に保管して下さい。
- 2.保証期間中は保証書の記載内容により、当社サービス機関が修理いたします。
- 3.保証期間経過後、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

設置上の注意

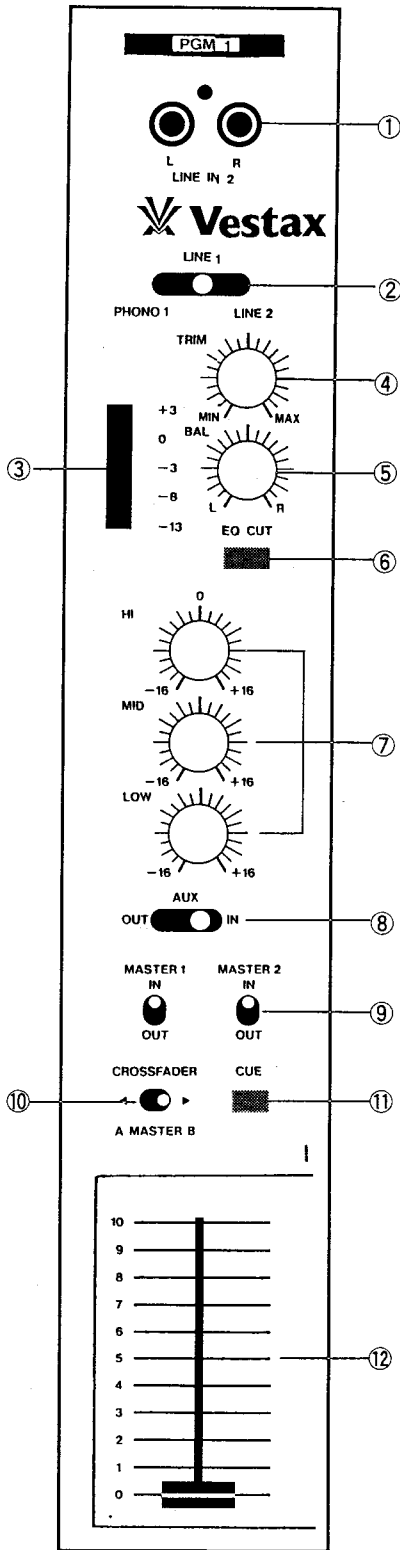
常温(5~35℃)で、通気が良い、頑丈で電源電圧の変動が少ない場所に設置して下さい。また、アルコールやシンナーなどの溶剤で塗装面を拭かないで下さい。塗装が剥げることがあります。

ご注意

本体の保証期間は1年ですが、クロスフェーダーやインプットフェーダーは消耗部品ですので、保証の対象外となります。したがって、消耗部品の交換につきましては、実費を請求させていただきます。また、パーツに無理な力を加えると破損することがありますので、本機の性能に疑問が生じた場合は、お買い上げの販売店か弊社までお問い合わせ下さい。

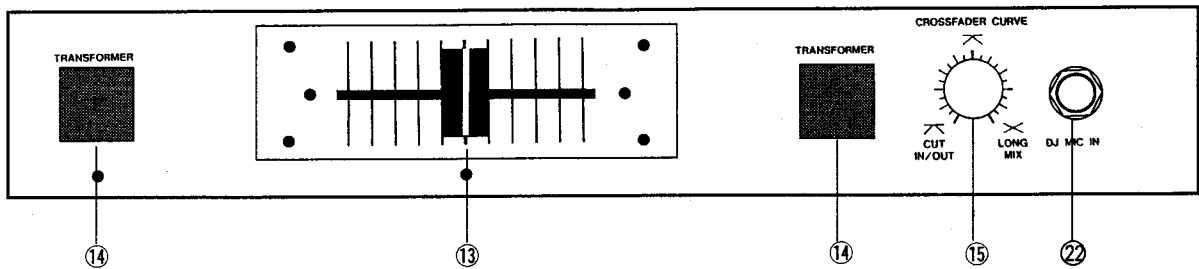
各部の名称とはたらき

トップパネル



プログラムインプット部

- ① ラインイン2、4、6、8
ライン入力のRCAジャックです。CDプレイヤー、テープデッキ、リズムマシン、サンプラーなどを接続して下さい。各プログラムに1系統づつトップパネルに配置しているので、持ち込んだ機器を接続する場合に便利です。
- ② インプットセレクター
各プログラムの入力をPHONO1系統、LINE2系統から設定します。
- ③ インプットレベルメーター
各プログラムの入力レベルを表示します。
- ④ ゲインコントロール
各プログラムの入力レベルを調節します。インプットフェーダーを7~8の位置にセットして、レベルメーターが0dB位まで振れるようにセットして下さい。
- ⑤ バランスコントロール
各プログラムのL/Rバランスを調節します。ターンテーブルのアンチスケーティングを強めに設定したときに生じる、L/Rバランスの不良を補正することもできます。
- ⑥ EQカット
各プログラムのEQのカットスイッチです。押した状態で、EQがバイパスされます。
- ⑦ EQ (HI、MID、LOW)
各プログラムの音質を調節する、3バンドイコライザーです。各バンドは、次の特性を持っています。
HI 8kHz ±16dB シェルビングタイプ
MID 500Hz ±16dB ピーキングタイプ
LOW 80Hz ±16dB シェルビングタイプ
- ⑧ AUXアサイン
各プログラムの信号をAUXセンドに送るかどうかを設定します。INでそのプログラムの信号が、AUXセンドへ送られます。
- ⑨ マスターアウトアサイン1、2
各プログラムの信号をマスターアウト1、または2に送るかどうかを設定します。INでプログラムの信号が、そのマスターアウトへ送られます。なおマスターアウト1には、マスターループが装備されています。
- ⑩ クロスフェーダーアサイン
各プログラムの信号をクロスフェーダーにアサインするスイッチです。Aにするとクロスフェーダーの左側、Bにすると右側にアサインされます。MASTERにすると、クロスフェーダーを通らずに直接マスター部へ送られます。
- ⑪ キューアサイン
各プログラムの信号をモニター部にアサインするスイッチです。ヘッドフォンでプログラムの入力をモニターする際に、このスイッチを押して下さい。また、同時にキューアウトにも送られますので、外部のサンプラーでサンプリングする場合などに便利です。
- ⑫ インプットフェーダー
各プログラムの入力レベルを設定します。永年の使用による劣化でノイズが目立つ場合には、新しいインプットフェーダーユニット、"IF-50"に交換して下さい。なお、交換は次の要領で行って下さい。
●フェーダーユニットパネル取り付けネジ(4本)を外します。
●フェーダーユニットをパネルごと取り出します。
●フェーダーユニットからマルチケーブルコネクターを抜きます。
●取り付けネジ(2本)とノブを外し、交換するフェーダーユニットをパネルから外します。
●新しいフェーダーユニットにコネクターを差し込み、取り付けネジでパネルに固定します。ノブも取り付けます。さらにパネルを元に戻し、取り付けネジにて固定します。



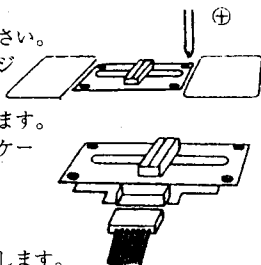
クロスフェーダー部

⑬ クロスフェーダー

左側に移動するに従いクロスフェーダーアサイン(10)でAにアサインした音が、右側に移動するに従いBにアサインされた音が、それぞれ出力されます。また中央部では、両方の音が同時に出力されます。このクロスフェーダーはVCAシステムを採用しており圧倒的な長寿命を誇ります。しかし永年の使用により劣化してしまった場合には、新しいクロスフェーダーユニット、"CF-50"に交換して下さい。

なお、交換は次の要領で行って下さい。

- フェーダーユニット取り付けネジ(4本)とノブを外します。
- フェーダーユニットを取り出します。
- フェーダーユニットからマルチケーブルコネクターを抜きます。
- 新しいフェーダーユニットに、コネクターを差し込み取り付けネジで固定します。ノブも元に戻します。

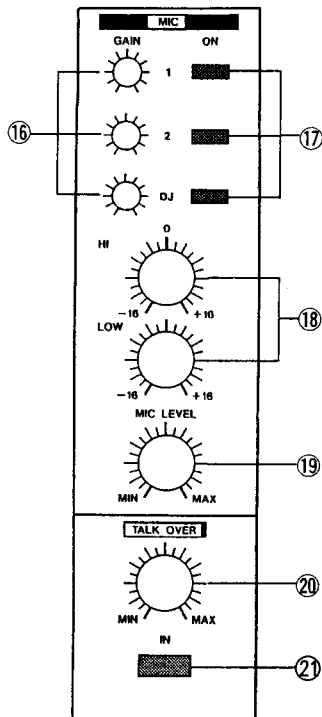


⑭ トランスフォーマーボタン

クロスフェーダーを左側、または右側に振りきった際に、反対側のトランスフォーマースイッチを押したときだけ、そのプログラムの音が出力されます。トランスフォーマースクラッチをする場合に便利です。

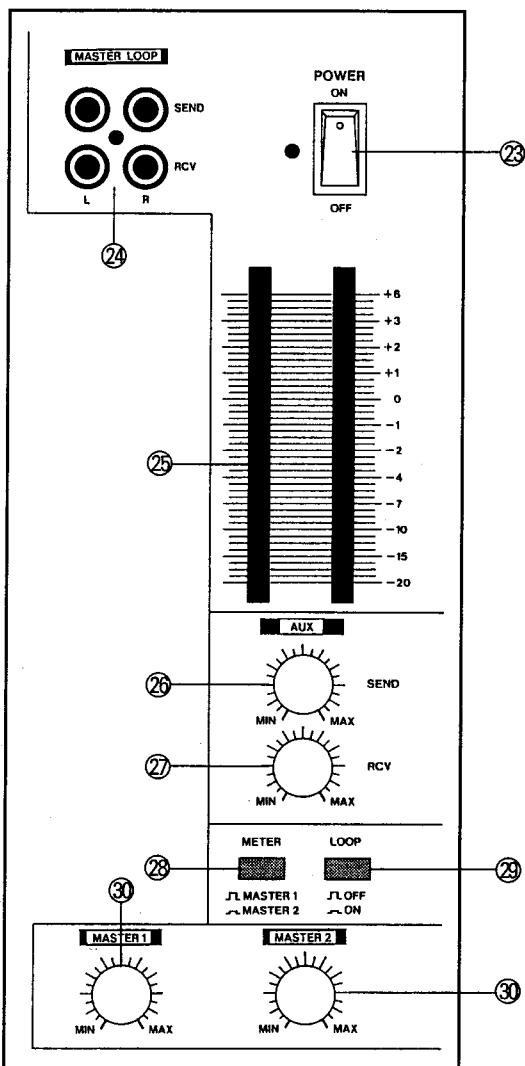
⑮ クロスフェーダーカーブ

クロスフェーダーのカーブを調節します。右に回すほどならかな変化になり、ロングミックスに適しています。左に回すほど急激な変化になり、スクラッチやカットイン/アウトに適しています。



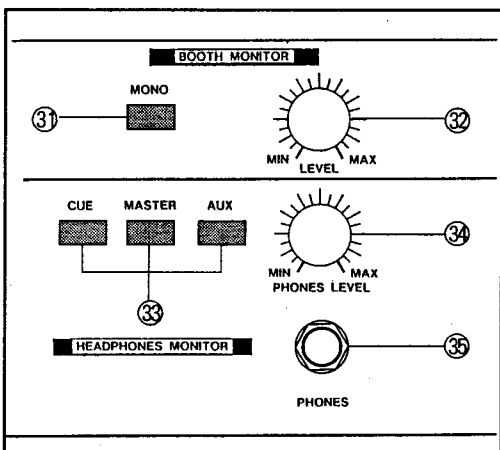
マイク部

- ⑬ マイクゲイン
3系統ある各マイクのゲインを独立して調節します。
- ⑭ マイクセレクター
3系統ある各マイクを独立してオン/オフします。押した状態でオンになります。
- ⑮ マイクEQ (HI, LOW)
マイクの音質をHI/LOWの2バンドで調節します。
- ⑯ マイクレベル
マイク全体のレベルを設定します。
- ⑰ トークオーバーレベル
トークオーバースイッチ(21)を押したときに、マイク以外の出力レベルをどれくらいミュートするか調節します。右に回すほど出力レベルが小さくなります。
- ⑱ トークオーバースイッチ
押したときにマイク以外の出力レベルをミュートします。
- ⑲ DJマイクジャック
DJ用のマイクを接続します。



マスター部

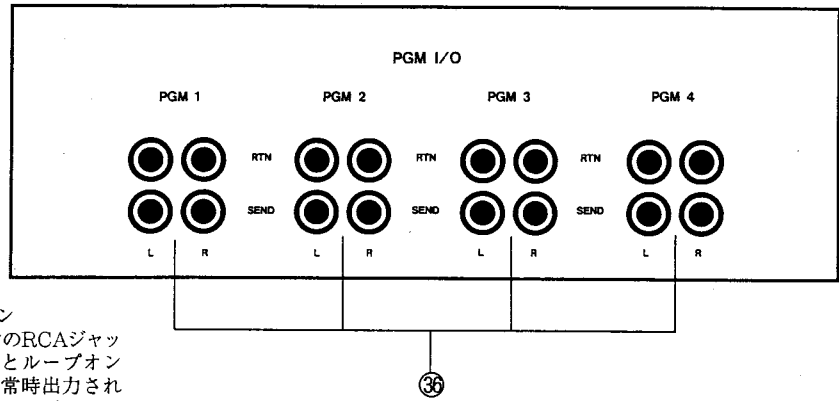
- ②③ パワースイッチ
電源のオン/オフスイッチです。オンのときにパネル上のLEDが点灯します。このスイッチを操作する際は、接続しているパワーアンプなどのボリュームを下げるか、電源を切った状態で行って下さい。
- ②④ マスターループ
マスターアウト1端子の手前に入るループの入出力ジャックです。グラフィックEQやリバープなどを全体的にかける場合に便利です。
- ②⑤ アウトプットレベルメーター
マスターアウト1、または2から出力される信号レベルを表示します。
- ②⑥ AUXセンドレベル
AUXセンドから出力される信号レベルを調節します。出力される信号は、AUXアサインスイッチ(8)で選択します。
- ②⑦ AUXリターンレベル
AUXリターンに入力される信号レベルを調節します。サブのライン入力としても使うことができます。
- ②⑧ メーターアサイン
アウトプットレベルメーター(25)に表示させるマスターアウトを選択します。
- ②⑨ ループスイッチ
マスターループ(24)のオン/オフを行います。
- ③⑩ マスターアウトレベル1、2
マスターアウト1、または2からの出力レベルを設定します。



モニター部

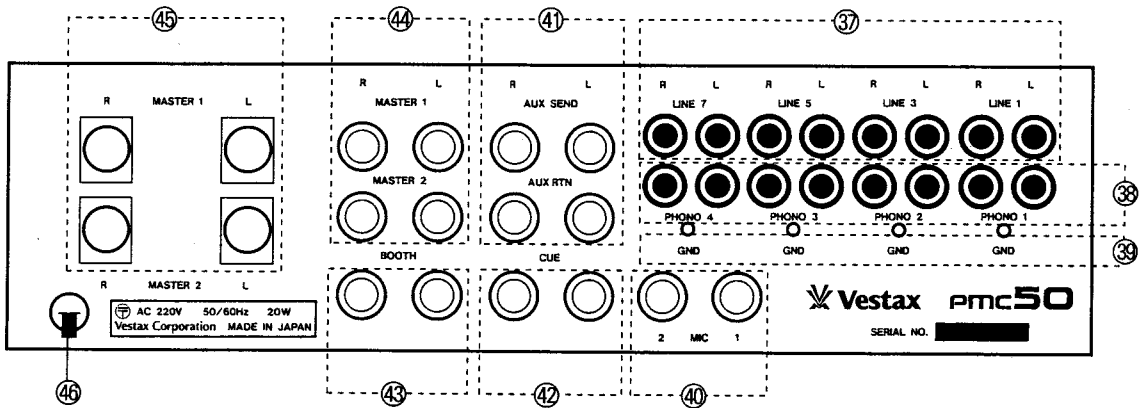
- ③① ブースモニターモノラルスイッチ
ブースアウトの出力をモノラルにします。押した状態でモノラルになります。
- ③② ブースモニターレベル
ブースアウトからの出力レベルを設定します。
- ③③ ヘッドフォンモニターセクター
ヘッドフォンでモニターする信号を選択します。CUEでキューアウトの信号を、MASTERでマスターアウトの信号を、AUXでAUXセンドの信号をモニターできます。なお出力は、ステレオモニターになっています。
- ③④ ヘッドフォンレベル
ヘッドフォンジャックに接続されたヘッドフォンの音量を調節します。
- ③⑤ ヘッドフォンジャック
ステレオタイプのヘッドフォンを接続します。8Ω以上のインピーダンスのものをご使用ください。

フロントパネル



- ③⑥ プログラムセンド/リターン
各プログラムインサージョンのRCAジャックで、リターンに接続するとループオンになります（センドからは常時出力されています）。コンプレッサーやアイソレーターDCR-1200などを接続して、プログラムごとの音づくりをするときに便利です。位置はポストEQ、プリインプットフェーダーになっています。

リアパネル



- ③⑦ ラインイン1、3、5、7
ライン入力のRCAジャックです。CDプレイヤー、テープデッキ、リズムマシン、サンプラーなどを接続して下さい。
- ③⑧ フォノン1、2、3、4
フォノ入力のRCAジャックです。ターンテーブルを接続して下さい。なお、MMタイプのカートリッジ専用なので、MCタイプのカートリッジをご使用の場合はヘッドアンプが必要です。
- ③⑨ グランドターミナル
ターンテーブルのアースコードを接続して下さい。ノイズやハムを減少させます。
- ④⑩ マイク1、2
マイクを接続します。
- ④⑪ AUXセンド/リターン
AUXセンド/リターンのフォーンジャックで、ディレイなどのエフェクターを接続します。なお、センドはプリインプットフェーダーになっています。
- ④⑫ キューアウト
サブアウトとしても使えるフォーンジャックで、キューアサイン(11)で選択された信号が出力されます。外部のサンプラーでサンプリングする場合などに便利です。
- ④⑬ ブースアウト
DJブース内のモニター用フォーンジャックで、ヘッドフォンアウトと同じ信号が出力されます。
- ④⑭ マスターアウト1、2 (アンバランス)
最終的にミックスされた信号が出力されるフォーンジャックです。アンプなどに接続して下さい。2系統あるのでメイン出力以外に片方を録音用として使ったり、ホール用とエントランス用に分けて使うこともできます。なおマスターループは、マスターアウト1のみに接続されます。
- ④⑮ マスターアウト1、2 (バランス)
最終的にミックスされた信号が出力されるXLRタイプコネクタです。アンバランスマスターアウト(44)と同じ信号が出力されます。なお3番ピンがホットです。
- ④⑯ ACケーブル
電源を供給するケーブルです。壁のコンセントに直接つないで下さい。

PMC-50 BLOCK DIAGRAM

